

エズラの 書

1 ペルシア王クロスの第一年、エレミヤの口を通して語られた主*のことばが成就するため、主はペルシア王クロスの霊を奮い立たせられた。そこでクロスは王国全土に布告を出し、文書にも記して、こう告げた。

2 「ペルシア王クロスはこう言う。『天の神†である主は、地上のすべての王国を私に与え、ユダにあるエルサレムに、ご自分のための家を建てるよう私に命じられた。』

3 あなたがたのうち、主の民に属する者はだれでも、その神がともにおられるように。その者はユダにあるエルサレムへ上り、エルサレムにおられるイスラエルの神、主の家を建てよ。主こそ神である。

4 残された者がどこに住んでいようとも、その土地の人々は銀、金、品物、家畜をもってその者を助け、さらにエルサレムにある神の家のために自発のささげ物をささげよ。』」

5 そこで、ユダとベニヤミンの父祖の家の長たち、祭司たち、レビ人たち、すなわち、エルサレムにある主の家を建てるために上るよう神がその霊を奮い立たせられたすべての者が立ち上がった。

* **1:11:1** すべて大文字で表記される「主」または「神」は、神の固有名（ヘブル語יהוה）

† **1:21:2** 「神」と訳されたヘブル語は「אֱלֹהִים」（エロヒム）である。

⁶ 周囲の人々は皆、自発のささげ物のほかにも、銀の器、金、品物、家畜、高価な品々を与えて彼らを支援した。

⁷ また、クロス王は、ネブカドネザルがエルサレムから持ち出し、自分の神々の家に置いていた主の家の器を取り出した。

⁸ ペルシア王クロスは、宝物倉の管理者ミトレダテを通してそれらを取り出し、数を確かめてユダの君シェシュバツアルに渡した。

⁹ それらの数は次のとおりである。金の平皿が三十、銀の平皿が一千、小刀が二十九、

¹⁰ 金の鉢が三十、第二種の銀の鉢が四百十、その他の器が一千。

¹¹ 金銀の器は全部で五千四百点であった。捕囚の民がバビロンからエルサレムへ上ったとき、シェシュバツアルはこれらすべてを携えて行った。

2

¹ バビロン王ネブカドネザルがバビロンへ捕らえ移した人々のうち、捕囚の地から上って来て、エルサレムとユダのそれぞれ自分の町へ帰った、この州の人々は次のとおりである。

² 彼らはゼルバベル、エシュア、ネヘミヤ、セラヤ、レエラヤ、モルデカイ、ビルシャン、ミスパル、ビグワイ、レフム、バアナとともに来た。

イスラエルの民の男子の数は次のとおりである。

³ パロシュの子らは二千百七十二人。

⁴ シェファティヤの子らは三百七十二人。

⁵ アラの子らは七百七十五人。

⁶ パハテ・モアブの子ら、すなわちエシュアとヨアブの子らは二千八百十二人。

⁷ エラムの子らは千二百五十四人。

⁸ ザトの子らは九百四十五人。

- 9 ザカイの子らは七百六十人。
10 バニの子らは六百四十二人。
11 ベバイの子らは六百二十三人。
12 アズガドの子らは千二百二十二人。
13 アドニカムの子らは六百六十六人。
14 ビグワイの子らは二千五十六人。
15 アディンの子らは四百五十四人。
16 ヒゼキヤに属するアテルの子らは九十八人。
17 ベツアイの子らは三百二十三人。
18 ヨラの子らは百十二人。
19 ハシュムの子らは二百二十三人。
20 ギバルの子らは九十五人。
21 ベツレヘムの子らは百二十三人。
22 ネットファの人々は五十六人。
23 アナトテの人々は百二十八人。
24 アズマベテの子らは四十二人。
25 キルヤテ・エアリム、ケフィラ、ベエロテ
の子らは七百四十三人。
26 ラマとゲバの子らは六百二十一人。
27 ミクマスの人々は百二十二人。
28 ベテルとアイの人々は二百二十三人。
29 ネボの子らは五十二人。
30 マグビシュの子らは百五十六人。
31 もう一方のエラムの子らは千二百五十四人。
32 ハリムの子らは三百二十人。
33 ロド、ハデイド、オノの子らは七百二十五人。
34 エリコの子らは三百四十五人。
35 セナアの子らは三千六百三十人。
36 祭司たちは次のとおりである。エシュアの子の
エダヤの子らは九百七十三人。
37 イメルの子らは千五十二人。
38 パシュフルの子らは千二百四十七人。
39 ハリムの子らは千十七人。

40 レビ人は次のとおりである。ホダブヤの子らのうち、エシュアとカドミエルの子らは七十四人。

41 歌うたいたちは次のとおりである。アサフの子らは百二十八人。

42 門衛の子らは次のとおりである。シャルムの子ら、アテルの子ら、タルモンの子ら、アクブの子ら、ハティタの子ら、ショバイの子ら。すべてで百三十九人。

43 宮のしもべたちは次のとおりである。ツイハの子ら、ハスファの子ら、タバオテの子ら、

44 ケロスの子ら、シアハの子ら、パドンの子ら、

45 レバナの子ら、ハガバの子ら、アクブの子ら、

46 ハガブの子ら、シャムライの子ら、ハナンの子ら、

47 ギデルの子ら、ガハルの子ら、レアヤの子ら、

48 レツインの子ら、ネコダの子ら、ガザムの子ら、

49 ウザの子ら、パセアの子ら、ベツアイの子ら、

50 アスナの子ら、メウニムの子ら、ネフィシムの子ら、

51 バクブクの子ら、ハクファの子ら、ハルフルの子ら、

52 バツルテの子ら、メヒダの子ら、ハルシャの子ら、

53 バルコスの子ら、シセラの子ら、テマの子ら、

54 ネットィアの子ら、ハティファの子ら。

55 ソロモンのしもべたちの子らは次のとおりである。ソタイの子ら、ハソフェレテの子ら、ペルダの子ら、

56 ヤアラの子ら、ダルコンの子ら、ギデルの子ら、

57 シェファティヤの子ら、ハティルの子ら、ポケレテ・ハツェバイムの子ら、アミの子ら。

58 すべての宮のしもべたち、およびソロモンのしもべたちの子らは、合わせて三百九十二人であった。

59 テル・メラ、テル・ハルシャ、ケルブ、アダシ、イメルから上って来た者たちのうち、父祖の家や血筋*がイスラエルに属することを証明できなかった者は次のとおりである。

60 デラヤの子ら、トビヤの子ら、ネコダの子らは六百五十二人。

61 祭司の子らのうちでは、ハバヤの子ら、ハコツの子ら、バルジライの子ら。このバルジライはギルアデ人バルジライの娘を妻に迎え、その妻の家名で呼ばれていた。

62 彼らは系図に登録された者たちの中から自分たちの記録を捜したが、見つからなかった。そのため祭司として不適格とされ、祭司職から退けられた。

63 総督は彼らに、ウリムとトンミムを用いる祭司が立つまでは、最も聖なるものを食べてはならないと告げた。

64 会衆はみな合わせて四万二千三百六十人であった。

65 このほかに、彼らの男女の奴隷が七千三百三十七人おり、また歌うたいの男女が二百人いた。

66 彼らの馬は七百三十六頭、騾馬は二百四十五頭、

67 らくだは四百三十五頭、ろばは六千七百二十頭であった。

68 父祖の家の長たちのうち何人かは、エルサレムにある主の家に着くと、神の家を元の場所に建てるため、自発のささげ物をした。

* 2:59 2:59 または「種」。

69 彼らはそれぞれの力に応じて、工事のための宝物庫に、金六万一千ダリク[†]、銀五千ミナ[‡]、祭司の衣百着を納めた。

70 こうして、祭司たち、レビ人、民の一部、歌うたいたち、門衛たち、宮のしもべたちは自分たちの町々に住み、全イスラエルも自分たちの町々に住んだ。

3

1 第七の月になり、イスラエルの子らが町々にいたとき、民は一人の人のようにエルサレムに集まった。

2 そのとき、エホツァダクの子エシュアとその兄弟である祭司たち、シェアルティエルの子ゼルバベルとその同族の者たちが立ち上がり、神の人モーセの律法に記されているとおり、その上で全焼のいけにえをささげるため、イスラエルの神の祭壇を築いた。

3 周囲の国々の民を恐れながらも、彼らは祭壇を元の場所に据え、その上で主に朝夕の全焼のいけにえをささげた。

4 彼らは記されているとおり仮庵の祭りを祝い、規定に従い、その日に必要な数だけ、日ごとの全焼のいけにえをささげた。

5 その後、常供の全焼のいけにえ、新月のささげ物、主の聖別されたすべての例祭のささげ物、また主に自発のささげ物を進んでささげるすべての者のささげ物をささげた。

[†] 2:69 2:69 ダリクはペルシア王が発行した金貨で、一枚は約8.4グラム、または約0.27トロヤオンスである。

[‡] 2:69 2:69 ミナは約600グラム、または約1.3米ポンドである。五千ミナは約3メートルである。

6 彼らは第七の月の第一の日から主に全焼のいけにえをささげ始めたが、主の神殿の土台はまだ据えられていなかった。

7 彼らは石工と大工に代金を支払った。また、ペルシア王クロスから得た許可に従い、レバノンの香柏を海路ヨッパまで運ばせるため、シドン人とツロ人に食べ物、飲み物、油を与えた。

8 エルサレムにある神の家に来たら二年目の第二の月に、シェアルティエルの子ゼルバベル、エホツァダクの子エシュア、その他の兄弟である祭司たちとレビ人たち、また捕囚からエルサレムへ帰って来たすべての者が工事を始めた。そして主の家の工事を監督させるため、二十歳以上のレビ人を任命した。

9 エシュアとその子らや兄弟たち、カドミエルとその子ら、すなわちユダの子らは一つになって立ち、神の家で働く者たちを監督した。ヘナダデの子らと、その子らや兄弟であるレビ人たちも、ともに監督に当たった。

10 建築者たちが主の神殿の土台を据えたとき、祭司たちは祭服を着てラッパを持ち、アサフの子らであるレビ人はシンバルを持って立った。イスラエル王ダビデの定めに従って主を賛美するためであった。

11 彼らは主を賛美し、感謝しながら互いに歌い交わした。「主はいつくしみ深い。その慈しみはイスラエルに向かってとこしえまで続く。」主の家の土台が据えられたので、民は皆、主を賛美して大きな喜びの声を上げた。

12 しかし、祭司、レビ人、父祖の家の長たちのうち、以前の神殿を見たことのある多くの老人は、この神殿の土台が目の前で据えられるの

を見て声を上げて泣いた。一方、多くの者は喜びの叫びを上げた。

¹³ そのため、喜びの叫び声と民の泣き声とを聞き分けることができなかった。民が上げた大きな声は、遠くまで響いた。

4

¹ ユダとベニヤミンの敵たちは、捕囚から帰った者たちがイスラエルの神、主のために神殿を建てていると聞いた。

² 彼らはゼルバベルと父祖の家の長たちに近づいて言った。「私たちにも、あなたがたとともに建てさせてほしい。私たちもあなたがたと同じように、あなたがたの神を求めている。私たちをここへ移したアッシリア王エサルハドンの時代から、この神にいけにえをささげてきた。」

³ しかしゼルバベル、エシュア、そのほかのイスラエルの父祖の家の長たちは答えた。「私たちの神のために家を建てることについて、あなたがたは私たちと何のかかわりもない。ペルシア王クロスが命じたとおり、私たちだけで、ともにイスラエルの神、主のために建てる。」

⁴ そこでその地の民はユダの民の気力をくじき、彼らを脅して建築を妨げた。

⁵ 彼らはペルシア王クロスの時代からペルシア王ダレイオスの治世に至るまで、ユダの民の計画を挫くため、反対工作をする者たちを雇った。

⁶ アハシュエロスの治世、すなわちその治世の初めに、彼らはユダとエルサレムの住民に対する告発状を書いた。

⁷ またアルタクセルクセスの時代には、ビシュラム、ミトレダテ、タベエル、そのほかの同僚たちが、ペルシア王アルタクセルクセスに手紙を書い

た。その手紙はアラム文字で記され、アラム語で書かれていた。

8 長官レフムと書記シムシャイは、エルサレムを告発する次の手紙をアルタクセルクセス王に書いた。

9 手紙を送ったのは、長官レフム、書記シムシャイ、そのほかの同僚たち、すなわちディナ人、アファルサテク人、タルペル人、アファル人、アルケブ人、バビロニア人、シュシャン人、デハ人、エラム人、

10 さらに、偉大で高貴なオセナパルが移住させ、サマリアの町と川の向こう側のその他の地方に住ませた諸国の民であった。

11 これは彼らがアルタクセルクセス王に送った手紙の写しである。

「アルタクセルクセス王へ。川の向こう側に住む王のしもべたちより。

12 王にお知らせします。王のもとから私たちのところへ上って来たユダヤ人は、エルサレムに入り、あの反逆的で邪悪な町を再建しています。彼らは城壁を完成させ、土台を修復しています。

13 今、王にお知らせします。この町が再建され、城壁が完成すれば、彼らは貢ぎ物も関税も通行料も納めなくなり、ついには王たちの損失となるでしょう。

14 私たちは王宮の塩をいただいております、王が辱められるのを見過ごすことはできません。それゆえ、人を遣わして王にお知らせします。

15 王の父祖たちの記録の書をお調べください。記録の書の中に、この町が反逆の町であり、王たちと諸州に損害を与え、昔からその中で反乱が企てら

れてきたことを見いだされるでしょう。この町が滅ぼされたのも、そのためです。

¹⁶ 私たちは王にお知らせします。この町が再建され、城壁が完成すれば、王は川の向こう側に何の領地も持てなくなるでしょう。」

¹⁷ そこで王は、長官レフム、書記シムシャイ、サマリアと川の向こう側のその他の地方に住む同僚たちに返書を送った。

「平安を告げる。

¹⁸ あなたがたが私たちに送った手紙は、私の前で明瞭に読み上げられた。

¹⁹ 私が命じて調査させたところ、この町は昔から王たちに反乱を起こし、その中で反逆と暴動が行われてきたことが判明した。

²⁰ またエルサレムには力ある王たちがいて、川の向こう側のすべての地方を治め、貢ぎ物、関税、通行料が彼らに支払われていた。

²¹ 今、命令を出してこの者たちの工事を中止させ、私が命令を下すまで、この町を再建させてはならない。

²² この命令を怠らぬよう、くれぐれも注意せよ。王たちに損害を与える害悪を、どうして増大させてよいだろうか。」

²³ アルタクセルクセス王の手紙の写しが、レフム、書記シムシャイ、その同僚たちの前で読み上げられると、彼らは急いでエルサレムのユダヤ人のもとへ行き、武力をもって工事を中止させた。

²⁴ こうしてエルサレムにある神の家の工事は止まり、ペルシア王ダレイオスの治世の第二年まで中断した。

5

¹ 預言者ハガイとイドの子である預言者ゼカリヤは、ユダとエルサレムにいたユダヤ人たちに、イスラエルの神の名によって預言した。

² そこでシェアルティエルの子ゼルバベルと、エホツアダクの子エシュアが立ち上がり、エルサレムにある神の家を建て始めた。彼らとともに神の預言者たちがいて、彼らを助けた。

³ そのころ、川の向こう側の総督タテナイが、シエタル・ボゼナイとその同僚たちを伴って来て、彼らに尋ねた。「だれがあなたがたに、この家を建て、この城壁を完成させる許可を与えたのか。」

⁴ 彼らはまた、この建物を建てている者たちの名を尋ねた。

⁵ しかし、彼らの神の目がユダヤ人の長老たちに注がれていたので、総督たちは工事を中止させなかった。事がダレイオスに報告され、この件について書面の返答が届くのを待ったのである。

⁶ これは、川の向こう側の総督タテナイ、シエタル・ボゼナイ、川の向こう側にいたその同僚であるアフアルサク人たちが、ダレイオス王に送った手紙の写しである。

⁷ 彼らが王に送った手紙には、次のように記されていた。

「ダレイオス王へ。どうかすべての平安がありますように。

⁸ 王にお知らせします。私たちはユダ州に入り、大いなる神の家へ行きました。その家は大石で建てられ、壁には木材が組み込まれています。工事は熱心に進められ、順調に進展しています。

9 そこで私たちは長老たちに、『だれがあなたがたに、この家を建て、この城壁を完成させる許可を与えたのか』と尋ねました。

10 また、その指導者たちの名を書いて王にお知らせするため、彼らの名も尋ねました。

11 すると彼らは、こう答えました。『私たちは天と地の神のしもべであり、はるか昔に建てられた家を建て直しています。それはイスラエルの偉大な王が建て、完成させた家です。』

12 しかし、私たちの父祖たちが天の神の御怒りを招いたため、神は彼らをカルデア人であるバビロン王ネブカドネザルの手に渡されました。王はこの家を破壊し、民を捕虜としてバビロンへ連れ去りました。

13 しかし、バビロンの王クロスの第一年に、クロス王はこの神の家を建てるための認可を与えました。

14 さらに、ネブカドネザルがエルサレムにあった神殿から取り出してバビロンの神殿に持ち込んだ神の家の金と銀の器も、クロス王がバビロンの神殿から取り出し、彼が総督に任じたシェシュバツアルという名の人に引き渡されました。

15 クロス王は彼に、「これらの器を携えて行き、エルサレムの神殿に納めよ。神の家を元の場所に建てよ」と命じました。

16 そこでシェシュバツアルは来て、エルサレムにある神の家の土台を据えました。建築はその時から今まで続いていますが、まだ完成していません。』

17 それゆえ今、もし王がよしとされるなら、バビロンにある王の宝物倉を調べさせ、エルサレムにこの神の家を建てる許可が本当にクロス王から出されたかどうかをご確認ください。もし

て、この件について王のご意向をお知らせください。」

6

¹そこでダレイオス王は命令を下し、バビロンの文書庫、すなわち宝物を納めていた所を調べさせた。

²するとメディア州のアクメタにある宮殿で一つの巻物が見つかり、そこには記録として次のように書かれていた。

³クロス王の第一年、クロス王はエルサレムにある神の家について命令を下した。「いけにえをささげる場所であるその家を建て、その土台を堅固に据えよ。高さは六十キュビト*、幅も六十キュビトとせよ。

⁴大石を三段、新しい木材を一段にして築け。費用は王家から支払え。

⁵また、ネブカドネザルがエルサレムの神殿から持ち出してバビロンへ運んだ神の家の金銀の器も返し、エルサレムの神殿の元の場所へ戻せ。それらを神の家に納めよ。

⁶それゆえ今、川の向こう側の総督タテナイ、シェタル・ボゼナイ、また川の向こう側にいる同僚のアファルサク人たちよ、そこに近づくな。

⁷この神の家の工事を妨げてはならない。ユダヤ人の総督とユダヤ人の長老たちに、この神の家を元の場所に建てさせよ。

⁸さらに私は、この神の家を建てるため、あなたがたがユダヤ人の長老たちに何をすべきかを命じ

* **6:36:3** 一キュビトは成人男性の中指の先からひじまでの長さで、約18インチ、または

る。工事が妨げられないよう、王の国庫、すなわち川の向こう側から納められる貢ぎ物から、費用を滞りなく彼らに支払え。

⁹ 彼らが必要とするもの、すなわち天の神への全焼のいけにえのための若い雄牛、雄羊、子羊、またエルサレムにいる祭司たちの求めに応じて、小麦、塩、ぶどう酒、油を日ごとに欠かさず与えよ。

¹⁰ それは、彼らが天の神に芳しい香りのいけにえをささげ、王とその子らの命のために祈るためである。

¹¹ 私はまた命じる。この命令を変更する者があれば、その家から梁を一本引き抜き、その者を引き上げてその梁に固定せよ。このことのゆえに、その家を汚物の山とせよ。

¹² ご自分の名をそこに住まわせた神が、この命令を変え、エルサレムにある神の家を破壊しようと手を伸ばすすべての王と民を打ち倒されるように。私ダレイオスが命令した。滞りなく実行せよ。」

¹³ そこで川の向こう側の総督タテナイ、シェタル・ボゼナイ、その同僚たちは、ダレイオス王の命令どおり、滞りなく実行した。

¹⁴ ユダヤ人の長老たちは建築を進め、預言者ハガイとイドの子ゼカリヤの預言によって工事は順調に進んだ。彼らはイスラエルの神の命令と、ペルシア王クロス、ダレイオス、アルタクセルクセスの命令に従って建て、完成させた。

¹⁵ この家はダレイオス王の治世の第六年、アダルの月の三日に完成した。

¹⁶ イスラエルの人々、祭司たち、レビ人たち、捕囚から帰った残りの者たちは、喜びをもってこの神の家の奉獻式を祝った。

17 彼らはこの神の家の奉献式に、雄牛百頭、雄羊二百頭、子羊四百匹をささげた。また全イスラエルのための罪のきよめのささげ物として、イスラエルの部族の数に従い、雄ヤギ十二頭をささげた。

18 そしてモーセの書に記されているとおり、エルサレムで神に仕えるため、祭司たちをその組ごとに、レビ人たちをその順序ごとに配置した。

19 捕囚から帰った者たちは、第一の月の十四日に過越の祭りを祝った。

20 祭司たちとレビ人たちは一同そろって身をきよめ、皆きよくなっていた。彼らは捕囚から帰ったすべての者、その兄弟である祭司たち、そして自分たちのために過越のいけにえをほふった。

21 捕囚から帰ったイスラエルの人々と、イスラエルの神、主を求めるために、その地の異邦の民の汚れから離れて彼らに加わったすべての者が、それを食べた。

22 彼らは七日間、喜びをもって種なしパンの祭りを祝った。主が彼らを喜ばせ、アッシリア王の心を彼らに向け、イスラエルの神の家の工事に携わる彼らを力づけてくださったからである。

7

1 これらのことの後、ペルシア王アルタクセルクセスの治世に、セラヤの子エズラがいた。セラヤはアザルヤの子、アザルヤはヒルキヤの子、

2 ヒルキヤはシャルムの子、シャルムはツアドクの子、ツアドクはアヒトブの子、

3 アヒトブはアマルヤの子、アマルヤはアザルヤの子、アザルヤはメラヨテの子、

4 メラヨテはゼラフヤの子、ゼラフヤはウジの子、ウジはブキの子、

5 ブキはアビシュアの子、アビシュアはピネハスの子、ピネハスはエルアザルの子、エルアザルは祭司長アロンの子であった。

6 このエズラがバビロンから上って来た。彼はイスラエルの神、主が与えられたモーセの律法に精通した書記であった。彼の神、主の御手が彼の上にあったので、王は彼の願いをすべてかなえた。

7 アルタクセルクセス王の第七年に、イスラエルの子らの一部、また祭司、レビ人、歌うたいたち、門衛たち、宮のしもべたちの一部がエルサレムに上って来た。

8 彼は王の第七年の第五の月にエルサレムに着いた。

9 彼は第一の月一日にバビロンを出発し、第五の月一日にエルサレムへ着いた。彼の神の恵み深い御手が彼の上にあったからである。

10 エズラは主の律法を探究し、それを行い、イスラエルに掟と定めを教えることに心を定めていた。

11 これは、祭司であり書記であって、主の命令のことばと、イスラエルに与えられた主の掟に通じていたエズラに、アルタクセルクセス王が与えた手紙の写しである。

12 「王の王アルタクセルクセスから、完全な天の神の律法に通じた書記、祭司エズラへ。

さて、

13 私は命令する。私の領土内にいるイスラエルの民、その祭司とレビ人のうち、自ら進んでエルサレムへ行こうとする者は皆、あなたとともに行くように。

14 あなたは、あなたの手にある神の律法に従ってユダとエルサレムの事情を調査するため、王と七

人の顧問によって遣わされる。

15 また、王と顧問たちが、その住まいがエルサレムにあるイスラエルの神に、自発のささげ物として献げた銀と金を携えよ。

16 さらに、バビロン州全域で得られるすべての銀と金を、エルサレムにある彼らの神の家のため、民と祭司たちが進んで献げる自発のささげ物とともに携えて行け。

17 それゆえ、この金で雄牛、雄羊、子羊、またそれに伴う穀物のささげ物と注ぎのささげ物を必ず買い、エルサレムにあるあなたがたの神の家の祭壇でささげよ。

18 残った銀と金については、あなたとあなたの同胞がよいと思うことを、あなたがたの神の御心に従って行え。

19 あなたの神の家の奉仕のために託された器は、エルサレムにおられる神の前に納めよ。

20 あなたの神の家のためにそのほかの必要が生じ、あなたが支払うべきものがあれば、王の宝物倉から支出せよ。

21 私、アルタクセルクセス王は、川の向こう側にいるすべての宝物倉の管理者に命じる。祭司であり天の神の律法の書記であるエズラが求めるものは、何であれ滞りなく与えよ。

22 銀は百タラント*まで、小麦は百コル†まで、ぶどう酒は百バテ‡まで、油は百バテまで、塩は量を定めずに与えよ。

* **7:22 7:22** 一タラントは約30キログラム、66ポンド、または965トロイオンスである。

† **7:22 7:22** 一コルは一ホメルと同じで、約55.9米ガロン、211リットル、または6ブッシン

‡ **7:22 7:22** 一バテは一コルの十分の一で、約5.6米ガロン、21リットル、または2.4ペッ

23 天の神が命じられることは何であれ、
天の神の家のために正確に行え。王とその子らの王
国に御怒りが下るようなことが、どうしてあってよ
いだろうか。

24 さらに知らせる。祭司、レビ人、歌うたいた
ち、門衛たち、宮のしもべたち、またこ
の神の家に仕える者たちには、貢ぎ物、関税、通
行料を課してはならない。

25 エズラよ。あなたの手にある神の知
恵に従い、川の向こう側にいる民、すなわちあな
たの神の律法を知るすべての者を治める役人と裁
判官を任命せよ。また、それを知らない者に
は教えよ。

26 あなたの神の律法と王の法律を守らない者に
は、死刑、追放、財産の没収、投獄のいずれであ
れ、厳正に裁きを執行せよ。」

27 私たちの父祖の神、主はほめたたえられよ。
主はエルサレムにある主の家を美しくするため、こ
のような思いを王の心に置いてくださった。

28 また王とその顧問たち、王のすべての有
力な君たちの前で、私に慈しみを示してくださつ
た。私の神、主の御手が私の上にあったので、
私は力づけられ、ともに上る指導者たちをイスラエ
ルの中から集めた。

8

1 アルタクセルクセス王の治世に、バビロンか
ら私とともに上って来た者たちの父祖の家の長たち
と、その系図は次のとおりである。

2 ピネハスの子らのうちからはゲルシヨム。
イタマルの子らのうちからはダニエル。
ダビデの子らのうちからはハトシュ。

- 3 シェカニヤの子ら、すなわちパロシュの子らのうちからはゼカリヤ。彼とともに男子百五十人が系図に登録されていた。
- 4 パハテ・モアブの子らのうちからはゼラフヤの子エリオエナイ。彼とともに男子二百人。
- 5 シェカニヤの子らのうちからはヤハジエルの子。彼とともに男子三百人。
- 6 アディンの子らのうちからはヨナタンの子エベド。彼とともに男子五十人。
- 7 エラムの子らのうちからはアタルヤの子エシャヤ。彼とともに男子七十人。
- 8 シェファティヤの子らのうちからはミカエルの子ゼバデヤ。彼とともに男子八十人。
- 9 ヨアブの子らのうちからはエヒエルの子オバデヤ。彼とともに男子二百十八人。
- 10 シェロミテの子らのうちからはヨシフヤの子。彼とともに男子百六十人。
- 11 ベバイの子らのうちからはベバイの子ゼカリヤ。彼とともに男子二十八人。
- 12 アズガドの子らのうちからはハカタンの子ヨハナン。彼とともに男子百十人。
- 13 アドニカムの子らのうち、最後に来た者たちはエリフェレテ、エウエル、シェマヤ。彼らとともに男子六十人。
- 14 ビグワイの子らのうちからはウタイとザブド。彼らとともに男子七十人。
- 15 私は彼らをアハワへ流れる川のほとりに集め、そこに三日間宿営した。民と祭司たちを調べたところ、レビの子らが一人もいなかった。
- 16 そこで私は、指導者であるエリエゼル、アリエル、シェマヤ、エルナタン、ヤリブ、エルナタン、ナタン、ゼカリヤ、メシュラムを呼び、また教師であるヨヤリブとエルナタンを呼んだ。

17 私は彼らをカシフヤという場所の長イドのもとへ遣わし、イドと、カシフヤにいるその同族の宮のしもべたちに伝えるべきことばを授けた。私たちの神の家に仕える者たちを連れて来させるためであった。

18 私たちの神の恵み深い御手が私たちの上にあったので、彼らはイスラエルの子レビ、その子マフリの子孫から、思慮ある人シェレブヤと、その子らや兄弟たち十八人を連れて来た。

19 またハシャブヤと、彼とともにメラリの子らのうちからエシャヤ、その兄弟たちとその子ら二十人、

20 さらに、ダビデと君たちがレビ人の奉仕のために任命した宮のしもべたちの中から、二百二十人を連れて来た。全員が名指しで選ばれた者であった。

21 そのとき私はアハワ川のほとりで断食を布告した。私たちが神の御前にへりくだり、自分たちと幼い子どもたち、すべての財産のために、まっすぐな道を神に願い求めるためであった。

22 道中の敵から私たちを守る歩兵と騎兵の部隊を王に求めることを、私は恥じた。私たちは王に、「私たちの神の御手は、神を求めるすべての者に恵みを施す。しかし、その力と怒りは神を捨てるすべての者に向けられる」と語っていたからである。

23 そこで私たちは断食し、このことを神に願い求めた。すると神は私たちの願いを聞き入れてくださった。

24 その後、私は祭司の長たちのうちから十二人、すなわちシェレブヤ、ハシャブヤと、その兄弟たち十人を選び分け、

25 王、その顧問たち、君たち、またそこにい

た全イスラエルが私たちの神の家のために献げた銀、金、器を量って彼らに渡した。

²⁶ 私は彼らの手に、銀六百五十タラント*、重さ百タラントの銀の器、金百タラントを量って渡し、

²⁷ また重さ千ダリク†の金の鉢二十個と、金のように高価な、精錬されて輝く青銅の器二つを渡した。

²⁸ 私は彼らに言った。「あなたがたは主に聖なる者であり、これらの器も聖なるものである。銀と金は、あなたがたの父祖の神、主への自発のさげ物である。

²⁹ エルサレムにある主の家の部屋で、祭司とレビ人の長たち、イスラエルの父祖の家の長たちの前で量るまで、注意深く守り保て。」

³⁰ こうして祭司たちとレビ人たちは、エルサレムにある私たちの神の家へ運ぶため、量り渡された銀、金、器を受け取った。

³¹ 私たちは第一の月の十二日にアハワ川を出発し、エルサレムへ向かった。私たちの神の御手が私たちの上にあり、神は道中の敵と待ち伏せする者の手から私たちを救い出された。

³² 私たちはエルサレムに着き、そこに三日間滞在した。

³³ 四日目に、私たちの神の家で銀、金、器を量り、祭司ウリヤの子メレモテの手に渡した。彼とともにピネハスの子エルアザルが、また彼らとともにレビ人であるエシュアの子ヨザバドとビンヌイの子ノアデヤがいた。

* **8:26 8:26** 一タラントは約30キログラム、66ポンド、または965トロイオンスである。

† **8:27 8:27** ダリクはベルシア王が発行した金貨で、一枚は約8.4グラム、または約0.27トロイオンスである。

34 すべてを数え、量り、その総重量をその時に書き記した。

35 捕囚から帰った者たちは、全イスラエルのために雄牛十二頭、雄羊九十六頭、子羊七十七匹、また罪のきよめのささげ物として雄ヤギ十二頭をイスラエルの神にささげた。これらはすべて主への全焼のいけにえであった。

36 彼らは王の命令書を、王の太守たちと川の向こう側の総督たちに渡した。すると彼らは民と神の家を支援した。

9

1 これらのことが終わると、君たちが私に近づいて来て言った。「イスラエルの民、祭司たち、レビ人たちは、その地の諸国の民から身を分けず、カナン人、ヒッタイト人、ペリジ人、エブス人、アンモン人、モアブ人、エジプト人、アモリ人の忌まわしい行いにならっています。

2 彼らは自分たちや息子たちの妻として、その民の娘たちを迎えました。そのため聖なる子孫が、その地の諸国の民と混じり合っています。しかも、君たちや支配者たちが真っ先にこの背信に手を染めています。」

3 私はこのことを聞くと、自分の衣と上着を引き裂き、頭の毛とひげをむしり、がく然として座り込んだ。

4 すると、捕囚から帰った者たちの背信のゆえに、イスラエルの神のことばに震えるすべての者が私のもとに集まった。私は夕方のささげ物の時まで、がく然として座っていた。

5 夕方 of のささげ物の時、私は衣と上着を引き裂いたまま、打ちひしがれた姿で立ち上がった。そしてひざまずき、私の神、主に向かって両手を広げた。

6 そして言った。「私の神よ。私は恥じ、顔を赤らめ、あなたに向かって顔を上げることもできない。私たちの不義は頭を越えて積み重なり、罪責は天にまで達した。

7 父祖たちの時代から今日に至るまで、私たちは大きな罪責を負ってきた。私たちの不義のゆえに、私たちも、王たちも、祭司たちも、今日見るとおり、諸国の王たちの手に渡され、剣にかけられ、捕囚となり、略奪され、辱めを受けた。

8 しかし今、ほんのしばらくの間、私たちの神、主から恵みが示された。逃れた者を残し、その聖所に私たちのための一本の杭を与え、私たちの目を明るくし、奴隷の身にある私たちにわずかな生気を与えるためであった。

9 私たちは奴隷である。それでも神は、奴隷の身にある私たちを捨てず、ペルシアの王たちの前で慈しみを示してくださった。私たちに生気を与え、私たちの神の家を建て、その廃墟を修復させ、ユダとエルサレムに城壁を与えてくださった。

10 今、私たちの神よ、この後、何と言えよう。私たちはあなたの命令を捨てた。

11 あなたは、しもべである預言者たちを通して、こう命じられた。『あなたがたが所有しようとして入って行く地は、諸国の民の汚れによって汚れた地である。彼らは忌まわしい行いによって、その地を端から端まで汚物で満たした。』

12 それゆえ、あなたがたの娘を彼らの息子に与えてはならない。彼らの娘をあなたがたの息子の妻に迎えてはならない。また彼らの平安や繁栄を、いつまでも求めてはならない。それは、あなたがたが強くなり、その地の良いものを食べ、それを永遠の相続地として子どもたちに残すためであ

る。』

13 私たちの悪い行いと大きな罪責のために、これらすべてのことが私たちに臨んだ。それでも私たちの神であるあなたは、私たちの不義に値するよりも軽く罰し、このように逃れた者たちを残してください。

14 それなのに、私たちは再びあなたの命令を破り、このような忌まわしい行いをする民と縁を結ぶのか。あなたは怒り、残る者も逃れる者もなくなるまで、私たちを滅ぼし尽くされるのではないか。

15 イスラエルの神、主よ、あなたは正しい方である。今日このように、私たちは逃れた残りの者として生きている。見よ、*私たちは罪責を負って御前にいる。このため、だれ一人として御前に立つことはできない。」

10

1 エズラが祈り、罪を告白し、泣きながら神の家の前にひれ伏していると、イスラエルから男、女、子どもの非常に大きな会衆が彼のもとに集まった。民は激しく泣いていた。

2 エラムの子らの一人、エヒエルの子シェカニヤがエズラに言った。「私たちは神に背き、その地の諸国の民から異国の女たちを妻に迎えました。それでも今、このことについてイスラエルには希望があります。

3 それゆえ今、わが主の助言と、私たちの神の命令に震える者たちの助言に従い、すべての妻と、その妻たちから生まれた子どもたちを去らせる契

* 9:159:15 「見よ」はヘブル語「הִנֵּה」に由来し、「見なさい」「注意を向けなさい」

約を、私たちの神と結びましょう。律法に従って行いましょう。

⁴立ち上がってください。このことはあなたにかかっています。私たちもあなたとともにいます。勇気を出して実行してください。」

⁵そこでエズラは立ち上がり、祭司の長たち、レビ人たち、全イスラエルに、このことばどおりに行うと誓わせた。彼らは誓った。

⁶それからエズラは神の家の前を去り、エルヤシブの子エホハナンの部屋に入った。彼はそこにいる間、パンを食べず、水も飲まなかった。捕囚から帰った者たちの背信を嘆いていたからである。

⁷そしてユダとエルサレム全土に、捕囚から帰った者たちは皆エルサレムに集まるようにとの布告が出された。

⁸君たちと長老たちの決定により、三日以内に来ない者は、その全財産を没収され、本人も捕囚から帰った者たちの会衆から追放されることになった。

⁹そこでユダとベニヤミンのすべての男たちは、三日以内にエルサレムへ集まった。それは第九の月の二十日であった。民は皆、神の家の前の広場に座り、この問題と大雨のために震えていた。

¹⁰祭司エズラは立ち上がって言った。「あなたがたは神に背き、異国の女たちを妻に迎えて、イスラエルの罪責を増し加えた。

¹¹それゆえ今、あなたがたの父祖の神、主の前に罪を告白し、その御心を行え。その地の民と、異国の女たちから離れよ。」

¹²すると全会衆は大声で答えた。「あなたの言われたとおりに、私たちは行います。

¹³しかし民は多く、今は大雨の時期なので、外に立ち続けることはできません。また、これは一

日や二日で済む仕事ではありません。私たちはこの件で大きな罪を犯したからです。

14 全会衆を代表する君たちを任命してください。私たちの町々で異国の女を妻に迎えた者は皆、定められた時に、それぞれの町の長老と裁判官を伴って来るようにしてください。この件が解決し、私たちに向けられた神の激しい怒りが去るまで、そのようにしましょう。」

15 ただアサエルの子ヨナタンとティクワの子ヤフゼヤはこの案に反対し、メシュラムとレビ人シャベタイが彼らを支持した。

16 捕囚から帰った者たちは、そのとおりにした。祭司エズラと、父祖の家ごとに選ばれた家長たちが、それぞれ名を挙げて任命された。彼らは第十の月の一日に、この件を調べるため席に着いた。

17 そして第一の月の一日までに、異国の女を妻に迎えたすべての男について調査を終えた。

18 祭司の子らのうち、異国の女を妻に迎えていた者は次のとおりである。

エホツアダクの子エシュアの子らとその兄弟たちのうち、マアセヤ、エリエゼル、ヤリブ、ゲダルヤ。

19 彼らは妻を去らせることを誓約し、罪責を負う者として、その罪過のために羊の群れから雄羊一頭をささげた。

20 イメルの子らのうち、ハナニとゼバデヤ。

21 ハリムの子らのうち、マアセヤ、エリヤ、シエマヤ、エヒエル、ウジヤ。

22 パシュフルの子らのうち、エリオエナイ、マアセヤ、イシュマエル、ネタンエル、ヨザバド、エラサ。

23 レビ人のうち、ヨザバド、シムイ、ケラヤ（別名ケリタ）、ペタフヤ、ユダ、エリエゼル。

- 24 歌うたいたちのうち、エルヤシブ。
門衛たちのうち、シャルム、テレム、ウリ。
- 25 イスラエルのうち、パロシュの子らでは、ラミヤ、イズヤ、マルキヤ、ミヤミン、エルアザル、マルキヤ、ベナヤ。
- 26 エラムの子らでは、マタヌヤ、ゼカリヤ、エヒエル、アブデイ、エレモテ、エリヤ。
- 27 ザトの子らでは、エリオエナイ、エルヤシブ、マタヌヤ、エレモテ、ザバド、アジザ。
- 28 ベバイの子らでは、エホハナン、ハナニヤ、ザバイ、アテライ。
- 29 バニの子らでは、メシュラム、マルク、アダヤ、ヤシュブ、シェアル、エレモテ。
- 30 パハテ・モアブの子らでは、アドナ、ケラル、ベナヤ、マアセヤ、マタヌヤ、ベツアルエル、ビンヌイ、マナセ。
- 31 ハリムの子らでは、エリエゼル、イシヤ、マルキヤ、シエマヤ、シメオン、
- 32 ベニヤミン、マルク、シエマルヤ。
- 33 ハシュムの子らでは、マテナイ、マタタ、ザバド、エリフエレテ、エレマイ、マナセ、シムイ。
- 34 バニの子らでは、マアダイ、アムラム、ウエル、
- 35 ベナヤ、ベデヤ、ケルヒ、
- 36 ワヌヤ、メレモテ、エルヤシブ、
- 37 マタヌヤ、マテナイ、ヤアス、
- 38 バニ、ビンヌイ、シムイ、
- 39 シエレミヤ、ナタン、アダヤ、
- 40 マクナデバイ、シャシャイ、シャライ、
- 41 アザレル、シエレミヤ、シエマルヤ、
- 42 シャルム、アマルヤ、ヨセフ。
- 43 ネボの子らでは、エイエル、マティティヤ、ザバド、ゼビナ、イド、ヨエル、ベナヤ。
- 44 これらの者は皆、異国の妻を迎えていた。その妻との間に子どもがいた者もあった。

フリーダム・バイブル
**The Holy Bible in the Japanese Language, Freedom
Bible translation**

Public Domain

Language: 日本語 (Japanese)

この聖書翻訳には著作権が設定されていません。この聖書翻訳の公式な配布元は eBible.org です。これは翻訳の草案です。この聖書翻訳をより良いものにするため、改善のご提案を ebible.org+jpnm@gmail.com までお寄せください。

2026-07-24

PDF generated using Haiola and XeLaTeX on 29 Jul 2026 from source files dated 24 Jul 2026

8daadcbf-1b7a-51a2-98ce-7e95a9e95424